

多様な「働き方」を支える —自治体が生み出す新たな就労支援の形—

わが国では地方の中小企業・小規模事業者の人手不足が一部業種で深刻化し、従来型の雇用政策が形骸化するなど、雇用のミスマッチが問題視されています。日本都市センターでは2023年度より「都市自治体の総合的な就労支援のあり方に関する研究会」を立ち上げ、研究を進めてきました。そこから見えてきたのは、個人に寄り添う生活支援から新たな働き方までをつないで総合的に支援する自治体の就労支援の必要性です。

そこで本交流会では、これまでの研究成果と重層的支援体制整備事業の最新動向を踏まえ、個人へのアウトリーチ、生活相談、伴走的支援、就労先開拓、支援付き就労、短時間就労、定着支援など、人と企業の双方を支える自治体の取組を検討します。



このような方におすすめ！

- 自治体の生活保護、生活困窮者自立支援、障害福祉等の担当職員
- 自治体のまちづくり・雇用・労働（地方創生、商工振興等）の担当職員
- 広く就労支援に携わる相談支援団体の皆様（社会福祉協議会やNPO等）

日 程

2026年 11月10日（火）13：30～16：15

会 場

日本都市センター会館5階 スバル

（〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1）

又は、Zoomウェビナーによるライブ配信（併用）

定 員

会場 30名（先着順） **参加費無料**

お申し 込み先

10月30日(金)までに当センターHPの「参加
申込フォーム」よりお申し込みください
(<https://www.toshi.or.jp/event/>)





公益財団法人

日本都市センター

■ プログラム（予定）

13:00 開 場・受付開始

13:30 開 会

13:35 基調講演

【講 師】 五石 敬路 氏（大阪公立大学大学院経営学研究科教授）

14:05 パネルディスカッション

【テーマ】 自治体が生み出す新たな就労支援の形

（1）コーディネーター

星野 泉 氏（明治大学 政治経済学部 教授）

（2）パネリスト

五石 敬路 氏（大阪公立大学大学院経営学研究科教授）

西岡 正次 氏（Aダッシュワーク創造館副館長）

勝部 麗子 氏（豊中市社会福祉協議会 参与兼コミュニティソーシャルワーカー統括）

荒木 伸義 氏（企業応援センターかわさき 所長）

櫛部 武俊 氏（釧路市社会的企業創造協議会代表理事）

◆ パネリストから話題提供をいただいた後、休憩をはさんだのち、ディスカッションを行います

16:15 閉 会

■ 会場までのアクセス

◎ 地下鉄 有楽町線
「麴町駅」半蔵門方面出口より徒歩4分

◎ 地下鉄 有楽町線・半蔵門線
「永田町駅」4番・5番出口より徒歩4分

◎ 地下鉄 南北線
「永田町駅」9番出口より徒歩3分

◎ 地下鉄 丸の内線・銀座線
「赤坂見附駅」より徒歩8分

◎ JR中央線
「四谷駅」麴町出口より徒歩14分

◎ 都営バス
平河町2丁目「都市センター前」下車
（新橋駅～市ヶ谷駅～大久保駅）

■ オンライン参加の皆様へ

- オンラインでの参加をご希望の方には、開催日の前日までに当日参加用のID／パスワード等を申込時にご記入いただいたメールアドレス宛にお送りします。